

ほうれん草萎凋病に対する 紫外線カットフィルムの効果確認



中央:試験ハウス 6月20日撮影



発病株数調査の様子



中央:萎凋病が発病したほうれん草



萎凋病が発病したほうれん草



試験ハウス内 7月18日撮影



慣行ハウス内 7月18日撮影

試験目的

ほうれん草萎凋病に対する紫外線カットフィルムの効果確認

試験作物 及び品種

ほうれん草(1~2作目・カイト、3作目・ブライトン)

試験資材 及び数量(規格)

クリンテートFXUV(0.1mm×740cm×75m) 1枚

慣行資材

コーティング5+1、スカイコート5

栽培方法

播種日

1作目:5月13日
2作目:6月24日
3作目:8月14日

収穫日

1作目:6月22日
2作目:8月7日
3作目:10月2日

資材使用期間

5月12日~10月11日

試験区面積

133坪
間口6.3×
奥行70m

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

フィルムの硬さについては、特に違いは感じられなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育や収量については、特に違いは見られなかった。

試験区ハウスの収量は1作当たり450~500kg程度であった。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

強度や透明性などについて、現時点で慣行品との違いは感じられなかった。

通常5~6年程度展張しているの、2~3年後に判断できると思う。

(4)保温効果について

特に違いは感じられなかった。

(5)雑草・病害虫の発生について

雑草・病害虫の発生については、慣行品とほぼ同等であった。

虫害の発生について、他のハウスより蛾などの入り込みは少なかった。

モニター感想

ほうれん草萎凋病の抑制効果があるということで今年使用してみたが、他のハウスと比べても同程度の発生が見られて、抑制効果は確認できなかった。

UVカットの効果は3年くらいあるとのことなので、来年も比較・観察していきたい。

紫外線カットフィルムの価格は通常品の7%アップとのことで、思ったより高価ではないと感じた。

JA担当者の感想(販売課 綿路係長)

クリンテートFXUV(紫外線カットフィルム)のほうれん草萎凋病に対する抑制効果については、感じることはできなかった。

日頃から非常に上手に栽培される生産者であるため、虫害痕についても出荷物開封時に試験区と慣行区の明確な差は感じられなかったが、トラップシートで捕獲した害虫は慣行区に比べ少なかった。

今回のほうれん草では期待した効果は得られなかったが、今後他の作物でも紫外線カットフィルムの効果を確認していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

来年も使ってみて、ほうれん草萎凋病の抑制効果があるようならまた使ってみたい。